

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ラヴオーロあおの丘with	事業所番号	1611700236
住所	富山県下新川郡入善町青木1390-1	管理者名	山下 志吾
電話番号	0765-32-3386	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>日 時：令和7年3月28日(金) 13:00~13:30 場 所：株式会社 配食のふれ愛 内 容：グループ面談形式。</p> <p>配食サービスの事業形態、流通、など普段従事するお弁当作業が、どのような事業規模、顧客管理、顧客の声や感想、成長見通しと課題など、話を伺う。</p> <p>また、雇用側として、当事者二人の会社、仕事、捉え方を聞き取り、今後に向けての経営者としての考え方や当事者の良さなどを就労継続支援A型利用者に話された。</p> <p>講師：株式会社 配食のふれ愛 代表取締役 戸出 大 氏 <small>参加利用者：就労継続支援A型利用者2名、社、ピアサポーター1名</small></p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>当事者が協働支援企業に従事していること、また就労継続支援B型のサービス利用からの意向である当事者がその違いなどについて話す。</p> <p>経営者である講師からはなぜ障害者を雇用するのか、その成果、そして今後会社側が求める働き方など具体的に意見交換し、今後の相互向上を図ることを目的として実施。</p>	 <p>※支援に就くスタッフも話を聞き、理解を深めた</p>
<p><成果></p> <p>参加した二人からは、「(一年未満の精神障害当事者)当初は求められるスピード、正確性に慣れるのが大変だった」「今でも追いついていないと思うが、踏ん張って毎日続けている」「就労Bとの違いはとにかく給与の差。B型はどれだけ頑張ってもみんな同じ。報われないような気がした」もう一人は「(一年以上の高次脳機能障害当事者)特に変化は感じない」「疲れを感じていることはない」などの意見が出されていた。</p> <p>講師からは「色んな特性、できる、できないがある中皆さんにあったやり方を探りながら、職員にも伝えている」「今後の求めることといえば、厳しいかもしれないが、会社が求める勤務時間、曜日になってくれるといい」「これはどこの会社でも雇用側はもてるもの。それに比べられるものを身につけると、今後にも繋がると思う」といった意見が伝えられた。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>(連携先企業より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の中では、工程的な説明が職員個々で違うこともあり受取が難しいこともあったかもしれない。 ・いち経営者として、仕事をするうえで大事なことは、それは単に能力ではない。ものの考え方、心の整え、そうすることでいいチーム組織も作られる ・それぞれ障害を抱えながらよくやっていると思う。なんとか支えを継続したいが、経営という点ではそれを一番の優先順位でやっていけるものでもない。 ・会社の求める人材として始業、終業時間、曜日など合わせてもらえると良い。 <p>(事業所より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、連携企業の代表である講師に話を伺うことで、会社が求める人材というのも率直に聞けたと思う。当事者にとっても、障害福祉サービスの一歩先は、やはり厳しさもあると伝わったのではないかな。 ・実際、常に同じ事業所内においても、その社風、方針、社員の気質は異なる。そういう経験をするのも当事者、支援者にも必要なことだと思う。 ・福祉的な支援を受ける側だけでなく、労働者として社会で自立するものとして、支援者では伝えきれない現実的な話にもなったのではないかな。 	
連携先企業 (担当者)	株式会社 配食のふれ愛 代表取締役 戸出 大

利用者からの意見・評価

<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じる仕事の困難さは伝えられた。 ・でも頑張りたい、もっと給与が欲しいという思いも伝えられた。 ・経営者として求めるものも聞けた。 ・もう少しこうした機会を増やしてほしい。 ・就労継続支援B型との違いはとにかく賃金。
--